

10 月 2 日 : VN 指数は地政学的リスクで下落 (VN-Index -0.34%)

- 昨夜イランによるイスラエルへのミサイル攻撃が行われ、中東情勢の悪化を危惧した投資家心理の落ち込みから、VN 指数は下落して取引を開始した。
- 前場、原油価格の上昇を好感した石油ガスセクターの買いなどが指数を一時的に上昇させるも、すぐに下落に転じた。
- 外国人投資家による買いが相場を支えたが、大引けまで軟調な展開が続いた。
- 石油ガスやメディアセクターが指数を支えた一方、素材や不動産セクターが足を引っ張った。
- 96 銘柄が上昇、299 銘柄が下落、73 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 19.2%低下し、17.7 兆ドンとなった。

VN30 指数も反落 (VN-30 -0.32%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、10 銘柄が上昇、19 銘柄が下落、1 銘柄が変わらずだった。
- TPB (+2.34%)、TCB (+1.01%)、PLX (+1.01%)などの上昇が顕著だった。
- HPG (-1.68%)、HDB (-1.68%)、SAB (-1.56%)などを筆頭に下落した。

セクター・個別株の動き

- MSN (-0.78%) の子会社 MCH は本日、UpCOM 市場から HoSE への移行に関し、取締役会決議を承認した。HoSE への上場は 2025 年となる見込み。
- POW (-0.38%) は昨日、ニヨンチャック 3&4 発電所プロジェクトに出資するため、5.2 億ドル相当のクレジット契約をシティ銀行（アメリカ）及び ING 銀行（ドイツ）と結んだ。同プロジェクトは総容量 1,500MW、総投資額 14 億ドルとなる見込み。
- 外国人投資家は 2,530 億ドンの買い越し。TCB (+1.01%)と PNJ (+1.03%)が大きく買い越された一方、VPB (-1.01%)が最も売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。